

## 第23回 手術の未来 2025.2.18 四 18:00 - 20:00

外科医と企業の連携によるイノベーションをめざして

血管とリンパ管は、それぞれ独立した機能を持ちながら、全身に広がる別々のネットワークを形成しています。血管は主に酸素を末梢組織に運搬し、リンパ管は毛細血管で回収しきれなかった組織液を静脈へと戻す役割を担います。しかし、リンパ管内皮細胞は胎生期に静脈内皮から分化しており、両者は多くのシグナル分子を共有しています。また、細静脈と集合リンパ管を比較すると、免疫染色を行わない限りその組織学的な違いを見分けることが困難です。このため、血管とリンパ管がどのように互いを区別し、独立した機能を保つのかについては、まだ解明されていない点が多く存在します。

本講演では、がん抑制遺伝子 Fln が静脈内皮においてリンパ管内皮の分化を促すマスター転写因子 Prox1 の発現を抑制し、血管とリンパ管の可塑性を制御する「ゲートキーパー分子」として機能していること、さらに発生期の血管内皮細胞の中でも血管先端細胞がリンパ管内皮への高い可塑性を持つことを示した、最新の研究成果を紹介します。

これらの基礎研究は、将来的にリンパ浮腫や進行がんの病態解明や治療法の開発に役立つと期待されています。

本研究会の光嶋 勲会長(広島大学病院 形成外科 教授)からは、招待講演に関連する最新知見、世界の動向をご紹介します。今回は、「巨大血管・リンパ管奇形に対する美容再建術」について講演します。講演後、登壇者とのパネルディスカッションは好評で、Q&Aを通して登壇者と対話ができる活気あふれるオンライン講演会です。ぜひご視聴ください。

企業の皆様、本研究会は次世代のスーパーマイクロサージャリー実現に向けて医の巨匠と企業とのコラボレーション創出を推進しています。医療イノベーションを志す企業の皆様は、ぜひこの機会に講演会へご参加ください。ご登壇いただいた医師とのご面談を希望の企業の皆様へ面談支援も実施しております。お気軽にご相談ください。



オープニング講演

スーパーマイクロサージャリー最新の知見 23  
— 巨大血管・リンパ管奇形に対する美容再建術 —光嶋 勲 氏 広島大学病院 形成外科 科長  
国際リンパ浮腫 治療センター 寄附講座 教授

招待講演

## 血管・リンパ管内皮細胞の可塑性とそのメカニズム

久保田 義顕 氏

慶應義塾大学医学部解剖学教室  
教授

2000年  
2000～2002年  
2001～2002年  
2003年  
2006年  
2006～2008年10月  
2008年11月～2013年3月  
2011年12月～2012年7月  
2013年4月～2015年4月  
2015年5月～2017年7月  
2017年8月～現在

慶應義塾大学医学部卒業  
慶應義塾大学医学部形成外科学教室にて臨床研修  
東京都済生会中央病院形成外科勤務  
慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程(須田年生教授)  
医学博士(慶應義塾大学)  
慶應義塾大学医学部発生・分化生物学教室 特別研究助手  
慶應義塾大学咸臨丸プロジェクト 特任講師  
National Institutes of Health (Laboratory of Stem Cell and Neurovascular Development and Patterning)  
慶應義塾大学医学部 機能形態学研究室准教授(主任研究員)  
慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念機能形態学講座 教授  
慶應義塾大学医学部 解剖学教室教授

◆ 参加費とお申込み : <https://cpk.jp/reg/2>

参加費：企業・公共機関など団体様は、1人15,000円、2人28,000円、3人40,000円  
※お得な回数チケットもございます。事務局へお問合せください。

\* 医療従事者、アカデミア、学生(社会人学生を除く)は無料です。

◆ 事務局：一般社団法人みらいメドテック | E-mail : [info@ikou-funding.com](mailto:info@ikou-funding.com) | <https://ikou-funding.com>